

小学校第6学年 外国語活動指導案

日 時 平成29年6月30日(金) 2校時

指導者 教育センター所員 岩永 亜希

1 単元名 When is your birthday? (友だちの誕生日を調べよう) (Hi, friends! 2 pp.6-9)

2 単元について

- この単元では、日本や世界の行事の紹介と関連させながら、月（暦）の名前や序数の英語表現に慣れ親しませ、子供たちが友達と互いに誕生日を尋ねたり答えたりすることによって、コミュニケーションを図る楽しさを体験することをねらいとしている。子供たちにとって、身近な誕生日を扱うことで「英語で自分の誕生日を伝えてみたい」「友達の誕生日を知りたい」という興味を引き出し、学級全体の情報を知ることができたり、言葉の役割や必要性を実感させたりしながら、仲間意識を持たせることができる単元である。
- 本学級の児童は、第5学年において、外国語活動の中で“What () do you like?” “How many ~?”等の英語表現に触れている。また、授業には毎時間ALTも加わっているので、“How are you?” “I’m ().”という簡単な挨拶を交わすことができる。児童に対する外国語活動に関するアンケートの結果は次のとおりである。

【実態調査結果】小数第1位を四捨五入 6月1日実施

- ① 「外国語活動」の授業は、楽しいですか。
とても楽しい56% 楽しい36% あまり楽しくない8% 楽しくない0%
- ② 先生や友達の英語を聞いて、だいたいの内容がわかりますか。
わかる33% 少しわかる46% あまりわからない21% わからない0%
- ③ 簡単な英語を使って、言いたいことを伝えていますか。
伝えている26% 少し伝えている28% あまり伝えてない38% 伝えてない8%
- ④ 自分の良さががんばりに気付き、自信がついてきましたか。
ついてきた31% 少しついてきた28% あまりついてきてない33% ついてない8%
- ⑤ 外国語活動を通して、友達や先生のことをわかり、もっと仲良くなろうとしていますか。
している67% 少ししている18% あまりしていない15% していない0%

アンケートの①の結果から92%の児童が外国語活動の授業を「とても楽しい」「楽しい」と感じている。一方で、②や③の結果から、「聞くこと」については21%、「話すこと」については46%の児童が十分ではないと感じている。このことは、④の「自分に自信がついてきた」「少しついてきた」を合わせた児童が59%に留まった結果につながったと考えられる。⑤の結果からは、85%の児童が仲間意識を大切にしながらコミュニケーションを図り、外国語活動に参加していることが分かった。

- 指導に当たっては、「タスク」達成に必要な英語表現を、スモールステップで慣れ親しませ、単元終末のコミュニケーション活動に生かせる「単元を貫くタスク」を外国語活動教材“Hi, friends!”に取り入れた課題解決型の単元を構想した。「タスク」とは、慣れ親しんだ英語表現を活用させる課題を指し、教師側からのイメージとしては、児童が英語表現に慣れ親しむ必要感やコミュニケーション活動への目的意識を高めるための「仕掛け」と捉えている。「単元を貫くタスク」は、次の3つを満たすものと考えている。

- ① 英語での情報の受け渡しがあり、英語を口にする必要感、つまり双方向性のある音声面での

コミュニケーション活動を含んでいること。

- ② 関わりを大切にし、目的意識の共有化や英語表現の確認をしながら共同で取り組むことができる活動であること。
- ③ 児童の知的好奇心を刺激したり、学級づくりや実際のコミュニケーション場面につなげたりする活動であること。

また、単元全体を通して、教師によるクラスルームイングリッシュを使う頻度を高め、子供たちに英語で何を言っているのかを想像させ、間違えてもいいので想像したことを自由に声に出させながら授業を進めるようにしていく。さらに、児童の意欲を継続させるために、楽器を使ったテンポよい活動で、音をよく聞くことの大切さやリズムによって発話することの楽しさを味わわせるようにしたり、デジタル教材やピクチャーカードを使い、音声と絵や文字が視覚的に結びついたりするような工夫を行っていきたい。

3 単元の目標

英語表現を使って、誕生日を尋ねたり答えたりするコミュニケーション活動を通して、月の名前や序数の英語表現に慣れ親しみ、友達に進んで関わろうとする。

4 単元の評価規準

○誕生日を積極的に尋ねたり答えたりしながら、友達に進んで関わろうとしている。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

○英語での月の言い方や、誕生日を尋ねたり答えたりする表現に慣れ親しんでいる。

【外国語への慣れ親しみ】

○世界と日本の祭りや行事に興味をもち、時期や季節の違いに気付いている。

【言語や文化に対する気付き】

5 指導と評価の計画（全4時間）

時	目 標	主な児童の活動	主な英語表現	評価規準（評価方法）	評価の観点		
					関	慣	気
1	○月の名前の英語表現を知る。 ○日本と世界の行事の違いに気付く。	1 英語の歌を歌う。 2 「ミッシングゲーム」をする。 3 「世界の行事と月を線で結ぼう」を聞く。 4 「陣取りゲーム」をする。	January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December	◆月の名前の英語表現を知ろうとしている。 （行動観察、発言、振り返り） ◆日本と世界の行事の違いに気付いている。 （行動観察、発言、振り返り）			○
2	○自分の誕生日の英語表現に慣れ親しむ。	1 英語の歌を歌う。 2 日にち（序数）について知る。 3 「ステレオゲーム」をする。 4 「神経衰弱」をする。	My birthday is ～. 1st 2nd 3rd・・・	◆自分の誕生日の英語表現を聞いたり声に出したりしている。 （行動観察、発言、振り返り）		○	

3	○友達の誕生日を尋ねる英語表現に慣れ親しむ。	1 英語の歌を歌う。 2 「かるた」をする。 3 「Say 21st」をする。 4 絵本の読み聞かせを聞く。 ----- When is your birthday?	◆友達の誕生日を尋ねる英語表現を聞いた声に出したりしている。(行動観察、発言、振り返り)		○	
4 (本時)	○誕生日を尋ねたり答えたりしながら、友達と進んで関わろうとする。	1 英語の歌を歌う。 2 「Keyword game」をする。 3 Birthday Card をわたす。 4 6の2 Birthday Calendar を作る。 ----- When is your birthday? My birthday is ~.	◆誕生日を尋ねたり答えたりする英語表現を使いながら、友達と進んで関わろうとしている。(行動観察、発言、振り返り)		○	

6 本時の目標

- ・誕生日を尋ねたり答えたりしながら、友達と進んで関わろうとする。

【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】

7 指導の視点

- ・本時においては、単元のゴール「6の2 Birthday Calendar」を作るためのインタビュー活動を設定し、前時までに慣れ親しんだ英語表現を使って、友達の誕生日を尋ねたり、自分の誕生日を伝えたりすることができたか。
- ・友達と楽しく関わろうとする気持ちを持ち、進んでコミュニケーションを図ることができたか。

8 本時の展開

過程	学習活動	指導上の留意点 ◆…評価(方法)と <u>主な英語表現</u>
出 合 う / 楽 し む	1 挨拶の後、Mingle活動をしながら、既習表現の質問をし合う。 ※Mingleとは「①混じる、②歓談する」という意味の英語である。 ここでは②を指す。 2 本時のめあてを知る。 ----- 英語で、たん生日を聞いたり答えたりしよう。 3 “Twelve Months”を歌う。 4 “Keyword game”をしながら前時を振り返る。	○挨拶を交わし、児童を英語の世界へと誘うために既習の表現を使った歌や質問をする。 ----- Hello. How are you? I'm ~. ○本時のめあてを提示する。 ○はっきりと発話させ、声のウォームアップを図る。 ○前時までに学んだ月の名前や序数の英語表現の確認を“Keyword game”を通して行う。 ----- January, February, March, April, May, June, July, August, September, October, November, December, 1st, 2nd, 3rd, 4th,

<p>／ 関 わ り 合 う</p>	<p>5 「6の2は、何月生まれの友達が多いのか」を予想する。</p> <p>6 『Birthday Cardをわたそう』を行う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>【『Birthday Card をわたそう』の進め方】</p> <p>①配られたカードに自分の誕生日と似顔絵を書き込む。</p> <p>②全員のカードを回収した後、バラバラにして児童に再度配付する。</p> <p>③児童は、“When is your birthday?”とたくさんの友達に尋ねながら、配られたカードに書かれた誕生日の友達を探す。</p> <p>④カードに書かれた誕生日の友達が見つかったら、友達と自分の名前を書いて渡し、自分がもらったカードは黒板に貼りに行く。</p> </div>	<p>○何月生まれの児童が多いかを予想させ、ワークシートに書かせる。</p> <p>○“When is your birthday?”のやり取りを代表児童とデモンストレーションを行う。カード渡しが始まったら、積極的に英語表現を使っている児童を称賛する。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>When is your birthday? My birthday is ～.</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>◆誕生日を尋ねたり答えたりする英語表現を使いながら、友達と進んで関わろうとしている。</p> <p>【コミュニケーションへの関心・意欲・態度】 (行動観察、発言、振り返りカードの点検)</p> <p>△→英語表現が分からずに困った時には、Help card を使っていいように、前もって伝えておく。Help card を示した児童には、ヒントを与えたり、友達と一緒に言わせたりして、安心感を与えられるようにし、相手に関わろうとしている態度を評価し、関わりへの自信を高めるようにする。</p> </div>
<p>／ 振 り 返 る</p>	<p>7 Birthday Calendar を作る。</p> <p>8 振り返りをする。</p> <p>9 挨拶をする。</p>	<p>○予想した「何月生まれが多いか」が当たった児童の人数を確認する。</p> <p>○「6の2 Birthday Calendar」が完成した喜びを共有させ『Happy Birthday』を歌わせる。</p> <p>○気付いたことの振り返りを行い、数人の児童に発表させる。</p> <p>○本時の児童のがんばりを褒め、終わりの挨拶をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> <p>You did a good job. Thank you very much. See you.</p> </div>